



江戸時代、半田運河周辺は、酒や酢などの醸造業が盛んで、
つくられた醸造品は半田運河から弁財船で江戸へと運ばれました。
運河沿いには今でも、黒板囲いの蔵や豪商の邸宅が建ち並び、往時の姿を今に伝えています。
醸造の歴史が醸し出す、情緒のある風景を散策してみませんか？

MAP
1



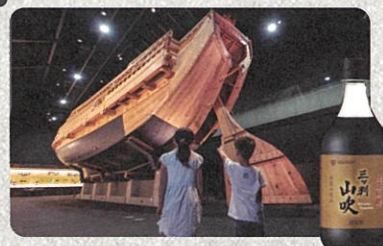
國盛 酒の文化館

200年ほど前に建てられた古い酒蔵をそのまま利用し、酒造りの道具・資料を展示する資料館です。中壱酒造の商品の購入や利き酒もできます。

0569-23-1499
開館時間：10:00～16:00
休館日：木曜日、年末年始
（祝日の場合は翌日）
入館料：無料・予約優先



MAP
2



MIZKAN MUSEUM (MIM)

ミツカンの酢づくりの歴史や、食文化を楽しむ学べる体験型博物館です。ショップはどなたでもご利用頂けます。

開館時間：9:30～17:00
入館料：全館コース＝大人 500円／中高生 300円
ミニコース＝大人 300円
休館日：木曜日、年末年始
＊見学はインターネットによる事前予約制。但し、ご来館された方で当日の予約に「空き」がある場合のみ受付で入館手続きをさせて頂きます。



MAP
3



小栗家住宅（萬三の白モッコウバラ）

肥料商や味噌・醤油の醸造で栄えた豪商・小栗家。小栗家住宅は、江戸末期から昭和初期に建てられた屋敷群で、今も住居として使用されています。2022年に国の重要文化財に指定されました。

0569-32-3264（観光協会）
見学：一般公開日のみ
＊ホームページをご覧ください



MAP
4



旧中壱半六邸 / 半六庭園

江戸時代から醸造業、海運業で栄えた豪商中壱半六家の邸宅。庭園は半田市を訪れる方々のおもてなしの場として開園しています。邸宅1階の飲食店も要チェック。

0569-89-2925（旧中壱半六邸）
開館時間：10:00～17:00
休館日：毎週木曜日
0569-84-0689（半六庭園）
開園時間：9:00～17:00
年末年始休



半田運河 NEWS 01

半田と酢とすしのはなし



世界中で愛される握り寿司は、実は半田で醸造された「酢」がブームの火付け役となりました。江戸時代、ミツカンの創業者が酒造りの際にでる酒粕を使って、「粕酢」づくりに成功。半田運河から江戸へと運ばれ、その風味や旨みが鮓に合うと人々の間で大流行したことが、いまにつながっています。

○半田運河ですしを食べるなら
・回転鮓 魚太郎 半田店
・豊場屋本店



半田運河 NEWS 02

見て体験して味わえる ガストロノミーツーリズム



半田市は、半田運河を中心に江戸時代から醸造文化が育まれた醸造の郷。江戸時代より酒造りが行われてきた歴史ある名醸地であり、酢・みそ・たまりしょうゆなど、知多の醸造食文化を知り体験するのに絶好の場所です。

○最新情報はこちら
半田市観光協会 特集ページ



半田市観光サイト

2024年3月発行：半田市

半田市観光協会・蔵のまち観光案内所
所在地：半田市東洋町1-8（アイブラザ半田内）

営業時間：9:00～17:00 定休日：毎月第2、第4曜日
電話：0569-32-3264

半田市観光協会
公式HPはコチラ



半田運河

ウォーキングマップ

醸造のまちの昔と今を訪ねて。



愛知県 半田市

